

# 東京湾アクアライン料金引下げ社会実験（平成23年度～平成25年度） 「報告書」概要版

料金引下げ社会実験の継続により、首都圏における交流・連携の強化、物流の効率化、観光振興がもたらされるなど、アクアラインの持つ多くの機能が発揮され、**千葉県をはじめ首都圏全体のポテンシャルが大きく開花**したものと考えられる。

## 交通

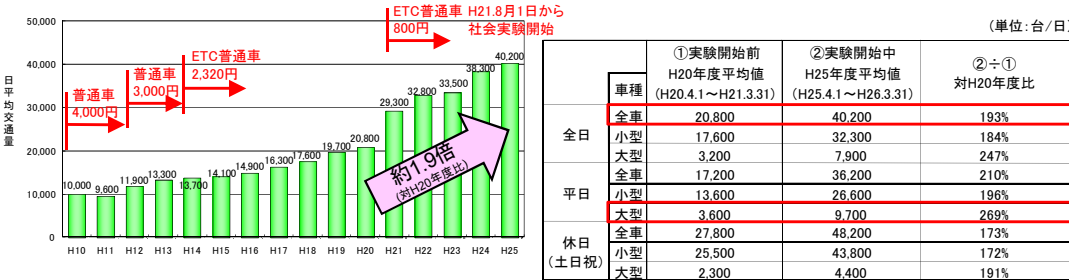
### ■ アクアラインの交通量の増加

■平成25年度の交通量は、**実験前（H20年度）に比べ約1.9倍に増加**

(20,800台/日 ⇒ 40,200台/日)

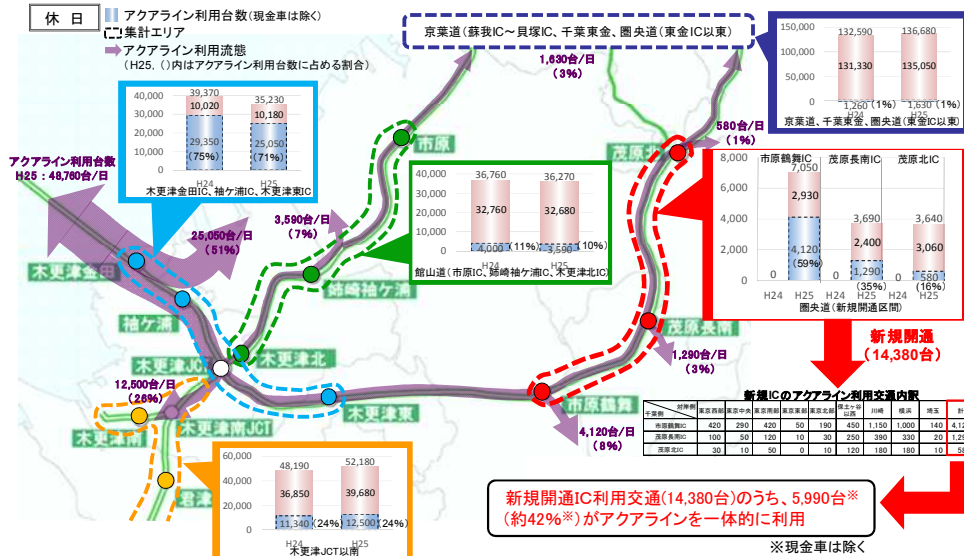
■特に、平日・大型車は**約2.7倍に増加**（3,600台/日 ⇒ 9,700台/日）

### 【アクアラインの交通量の推移】【全日・全車】



### ■ アクアラインと圏央道の一体的利用

■圏央道（木更津～東金、平成25年4月27日開通）の新規開通IC利用交通のうち、**アクアラインを同時に利用している交通が約4割**



## 物流

### ■ アクアラインの利用増加

■首都圏の物流事業者の約6割が、「アクアラインを利用している」と回答。

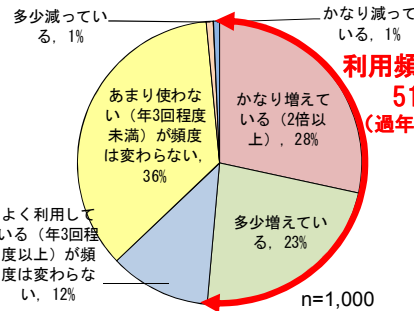
■また、物流事業者の**約6割が「料金引下げにより輸送ルートが変化した」と回答し、そのうち約8割が「湾岸ルート（京葉道路、東関東道）の利用が減った」としている。**

## 観光

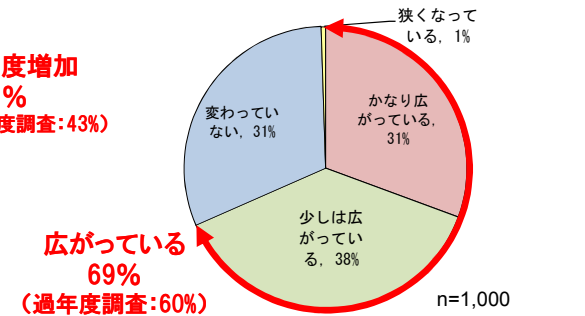
### ■ 利用頻度の増加、観光圏域の拡大

■アンケート調査結果より、対岸⇒千葉(下り)で利用した方のうち、「アクアラインの利用頻度」が増加した方は**約5割**、「観光圏域」が広がった方は**約7割**と回答、それぞれ過年度調査よりも増加。

Q.「800円社会実験」が4年前より開始しましたが、この4年間でアクアラインの利用頻度に変化はありましたか？



Q.「800円社会実験」が4年前より開始しましたが、これによって観光(レジャー・買い物)で訪問・行動するエリア(範囲)は広がっていますか？



## 地域活性

### ■ アクアライン着岸地における人口増加

■アクアラインの着岸地域では、社会実験前（H20年）と比較すると増加。

木更津市：平成25年は**5.1%増**（平成20年比、H20:124,812人⇒H25:131,214人）

袖ヶ浦市：平成25年は**2.1%増**（平成20年比、H20: 59,529人⇒H25: 60,759人）

※常住人口（各年10月1日）